

男女共同参画社会を めざして

私たちのまわりの生活を見渡すと、「男だから家庭より仕事を」「女だから子育てや介護を」というように、男性と女性で役割が分けられていることに気づきます。

また、社会の構成員として対等であるはずの男女の身近な生活に、「男らしく」「女らしく」という意識や言葉が影響を与えています。

名寄市では、性差にとらわれず、社会のあらゆる分野において、男性も女性も一人ひとりの個性を認めたくうえで、お互いに力を合わせて一緒にかわることをめざしていきます。

旧名寄市では、すべての男女が家庭、学校、職場など、社会のあらゆる分野においてお互いの人格を尊重し、利益も責任も分かちあい、生き生きとした豊かな暮らしの実現をめざすため、平成17年3月に「男女共同参画推進計画」を策定し、全戸に配布いたしました。新市では、市民組織「名寄市男女共同参画推進計画策定委員会」を立ち上げ、長期にわたる取り組みの中で策定された旧名寄市の計画を一部修正や補強し、新市の男女共同参画推進計画としてスタートする予定です。



「ご意見」「ご要望をお寄せください

名寄市の男女共同参画社会の推進にあたり、皆さまのご意見、ご要望をお待ちしております。

また、男女共同参画に関する情報を広報なよろなどを通じて提供していきます。

問い合わせ 企画課男女共同参画担当

名寄庁舎3階 (☎01654 2111 内線3

308・3309)

E-mail ny-mwkyodo@city.nayoro.lg.jp

「性別による固定的な役割分担」を見直しましょう

「性別による固定的な役割分担」とは、男性、女性という性別を理由として役割を固定的に分担することです。

例えば、「夫は外で仕事を行い、妻は家庭を守る」、「男性は主要業務を行い、女性はお茶くみを含め、補助的な業務を行う」などが挙げられます。また、少し前までは、「パイロットや電車の運転士は、男性の仕事」で、看護師や保育士は「女性の仕事」とされてきました。

男女共同参画社会は、男性も女性も、あらゆる社会活動への機会が公平に開かれ、個性や能力を發揮できる社会であります。しかし、「性別による固定的役割分担」の考えは、このような男女の社会活動への参画に対し、性別を理由とする制約を及ぼすおそれがあります。このため、男女共同参画社会基本法は、男女共同参画社会の実現のためには「性別による固定的役割分担」を見直す必要があるという問題意識に立っています。

これからよりよい社会をつくりあげていくためには、男女ともに意欲と能力によって、夢や希望を実現できる社会をめざしていく必要があります。

毎年6月23日～29日までの1週間は

「男女共同参画週間」です

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できる「男女共同参画社会」をめざします。その実現のためには 政府や地方公共団体だけでなく、市民のみなさん一人ひとりの取り組みが必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについてこの機会に考えてみませんか？

名寄市では、この週間にあわせて名寄絵手紙同好会による「はがき1枚からの男女共同参画」作品を展示します。

とき 6月22日(金)～29日(金) ところ 市役所名寄庁舎1階ロビー



男女共同参画 Q & A

男女共同参画に関するもので、よくある疑問にお答えします

Q 男女共同参画とはどういう意味ですか？「参加」と「参画」とはどう違うのですか？

A 男女共同参画とは、「男女が、性別にかかわらず個人として尊重され、その個性と能力を十分に発揮する機会が確保されることにより、社会の対等な構成員として自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、ともに責任を担うこと」を意味します。

「参加」は仲間として加わることですが、「参画」には、ものごとの計画や決定の段階から参加し、対等なパートナーとして意見を出しあい責任も分かちあうという、より積極的な意味があります。



Q なぜ「男女共同参画社会」が求められているのですか？

A 昭和21年に制定された日本国憲法では、「すべての国民は、法の下に平等であつて、性別によつて差別されない」と明記され、その後、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みが行われてきました。しかし、社会の実態をみると、「男は仕事、女は家庭」という言葉に代表されるように、性別によつて役割を決めつけてしまう意識が残っています。そのため、男女間の不平等を感じたり、自らが望む生き方を選択するうえでの妨げになっている場合があります。

一方、社会情勢の変化は著しく、急速な少子高齢化や家族形態の多様化、そして低迷を続ける国内経済活動など、時代の変化に適応していくうえで、性別にかかわらず個人としてその個性と能力をより一層発揮できる社会の実現が求められています。



Q 専業主婦の家庭では「男は仕事、女は家庭」が当然ですが・・・

A 「女性は家事・育児に専念すべきだ、男性は仕事中心の生活が当たり前だ」ではなく、それぞれが望んだときに望んだ生き方を選択できる社会をめざしているものです。当然、家庭内の話し合いによつて、夫が働き、妻が家事・育児に専念することを選択したのであれば、それは尊重されるものです。男女共同参画は専業主婦を否定するものではありません。



Q ジェンダーフリーとはどういう意味ですか？

A ジェンダーフリーとは、簡単に要約すると「社会的性別（ジェンダー）の押し付けから自由（フリー）になる」というような意味の言葉で、和製英語的に使われています。

ジェンダーフリーは、社会的・文化的性差に対する偏見や制度的障壁から自由になることを意味するので、他人や社会制度に無理やり「男だから〇〇しなきゃいけない」「女だから××しなきゃいけない」といった固定的な性差関係・社会的性役割を押し付けられないですむようにしましょう、ということです。